

## 第29回 行田市新型コロナウイルス感染症対策本部会議

日 時：令和3年4月19日（月）16：30～16：55 場 所：203会議室

出席者：市長、副市長、教育長、総合政策部長、総務部長、市民生活部長、環境経済部長、健康福祉部長、都市整備部長、建設部長、学校教育部長、生涯学習部長、消防長、議会事務局長、秘書課長、保健センター所長

内 容

### 1 開 会（副市長）

### 2 市長あいさつ

関西方面では変異株がまん延しており、今後、日本全国に広がってくるのが考えられる。埼玉は大丈夫ではなく、広がってくるものと思って、今からその辺を念頭に対策を講じるべく協議をお願いする。

### 3 報告事項

（消防長）4月17日（土）から消防職員のワクチン接種が行田総合病院で始まった。18人の1回目接種が終わったが、今のところ異常はない。15日（木）夕方に他施設キャンセル7人分の追加振り分けがあり、消防職78人プラス7人の合計85人（署員全員）の2回の接種が5月18日に完了する。

### 4 協議事項

#### (1) 公共施設の貸し出しについて

（危機管理監）協議前に県の対策本部会議（4/16（金））の概要を説明する。

埼玉県におけるまん延防止等重点措置等の内容は、対象区域をさいたま市と川口市とし、区域以外を埼玉県全域としている。実施期間は、対象区域、区域外ともに4月20日から5月の11日までに加え、重点措置終了後5月19日まで段階的緩和措置として継続するものとしている。詳細は、飲食店の営業時間について措置区域については午後8時まで、その他の区域については午後9時までの時間短縮を要請するものとなっている。これにあわせた県の対応中、県有施設の取扱いについては、引き続き飲食、シャワー、カラオケ、コーラスを伴う利用や身体的な接触を伴う行為は禁止することとされている。また、飲食店の営業時間短縮要請への協力金については、第9期として前年度までの1日当たりの売上に応じて協力金を支給することとされた。事業者へのお願いとしては、彩の国「新しい生活様式」安心宣言及び国の「業種別ガイドライン」を遵守し、感染防止対策を徹底すること、カラオケ設備は強く自粛を求めるものとされ、県と川口市の職員が実地確認をすることとしている。

これらの県の対策本部会議の結果を踏まえ、本市の公共施設の対応を協議したい。

（健康福祉部長）県の段階的緩和措置が5月19日まで延長のため、福祉施設は現状維持・継続で考えている。4月21日まで休館となっているところは5月19日まで休館。それ以外は、利用人数の制限なり、時間の制限を設けたままで考えている。

(市民生活部長) コミュニティセンターとVIVAぎょうだは、現状を維持・継続で考える。調理室についての利用希望が寄せられているが、貸し出せる状況ではないと考えている。

(環境経済部長) 商工センターは、現状を維持・継続、それ以外の施設は通常通りと考えている。

(教育長) 図書館、公民館、郷土博物館関係、スポーツ施設関係は、利用人数と利用時間の制限をかけての現状維持・継続で考える。産業文化会館、はにわの館についても人数制限、利用時間の制限をかけての維持・継続である。中学校における部活動は、4月中の対外試合は、自粛で調整中である。

(都市整備部長) 古代蓮会館、古代蓮の里、総合公園管理事務所に関しては、引き続き人数制限を行い、現状維持・継続で考える。

(総務部長) 地域交流センターと南河原隣保館は、現状維持・継続で考える。

(環境経済部長) 八幡マルシェに関しては、緊急事態宣言が発出されたら中止、発出されていなければ開催することとしたい。花手水に関しては、緊急事態宣言が発出されても開催できるものとする。

(教育長) 中学校の部活動については、ガイドラインに沿って実施されてきたが、他校との対外試合は自粛する方向で調整中である。

(消防長) 救急講習等について、急事態宣言発令中は中止としてきたところ。ただし、5月18日のワクチンの接種完了後は、相手方施設に出向いての講習は、相手方の感染防止対策の徹底をもって開催することとする。また、予防課職員はワクチン接種が完了していないが、緊急事態宣言でないということから、検査や査察については実施する。

(市長) 今、言っていた方向でよいと思う。徹底してほしいことは現場主義。現場を見ること。「言っている。」や「指示している。」ではなく、現場主義を徹底してほしい。重症化の低年齢化が言われている。職員が昼食をとっている会場（3階）も見てほしい。感染防止対策が徹底されているか一度見てほしい。

(副市長) 公共施設について、5月19日までは現状の維持・継続で、危機管理監は、市HP等広報の手配をお願いする。今回のまん延防止等重点措置に関しては、総務部で文書の発出準備をしているが、職員の中で家族や身近な人がPCR検査を受けたなど、職場への報告の徹底を改めてお願いする。また、コロナウイルス接触確認アプリなど、各種ツールの活用を徹底してほしい。

その他でなければ、これで対策本部会議を終了する。